

令和5年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
報告書（概要版）

福津市

令和5年8月

# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

地域における要介護状態となる前の高齢者のリスクや社会参加状況等を把握し、地域の実情に合った効果的な介護予防・日常生活支援総合事業等の施策展開に活かすとともに、「福津市第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」策定の基礎資料とするため。

## (2) 調査の対象

福津市の65歳以上の高齢者のうち、要介護1～5の認定を受けていない方の中から無作為抽出した4,000名。

## (3) 調査方法

郵送による配布・回収

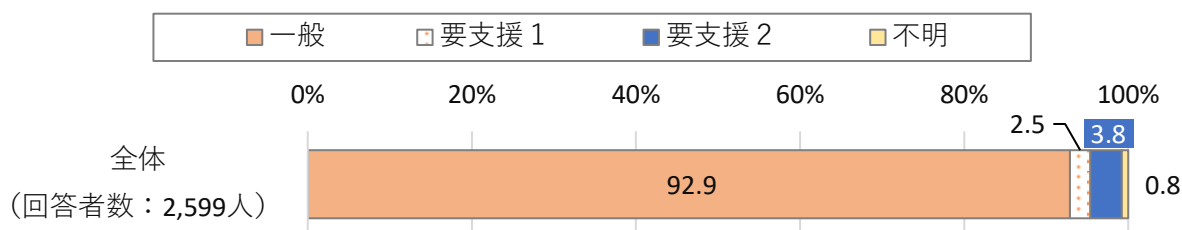
## (4) 調査期間

令和5年4月13日～令和5年4月28日

## (5) 回収結果

発送数	有効回収数	有効回収率
4,000通	2,599通	65.0%

## (6) 回答者の要介護認定状況

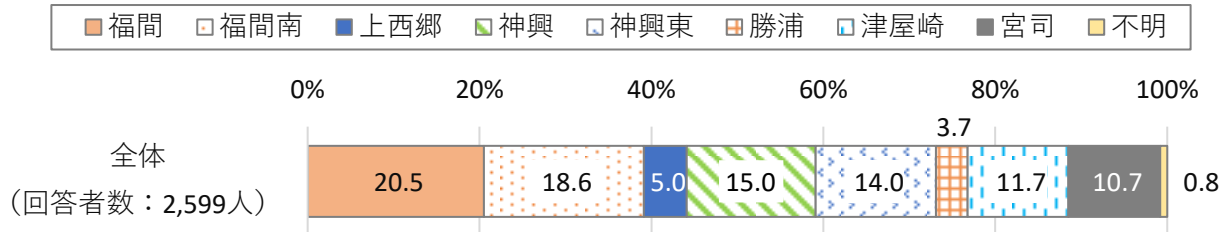


## 2 回答者の居住地と年齢構成

### (1) 居住地

- 回答者の居住地（8地域）の分布は図表1のとおりで、最も多いのは「福間」（20.5%）、最も少ないのは「勝浦」（3.7%）となっています。

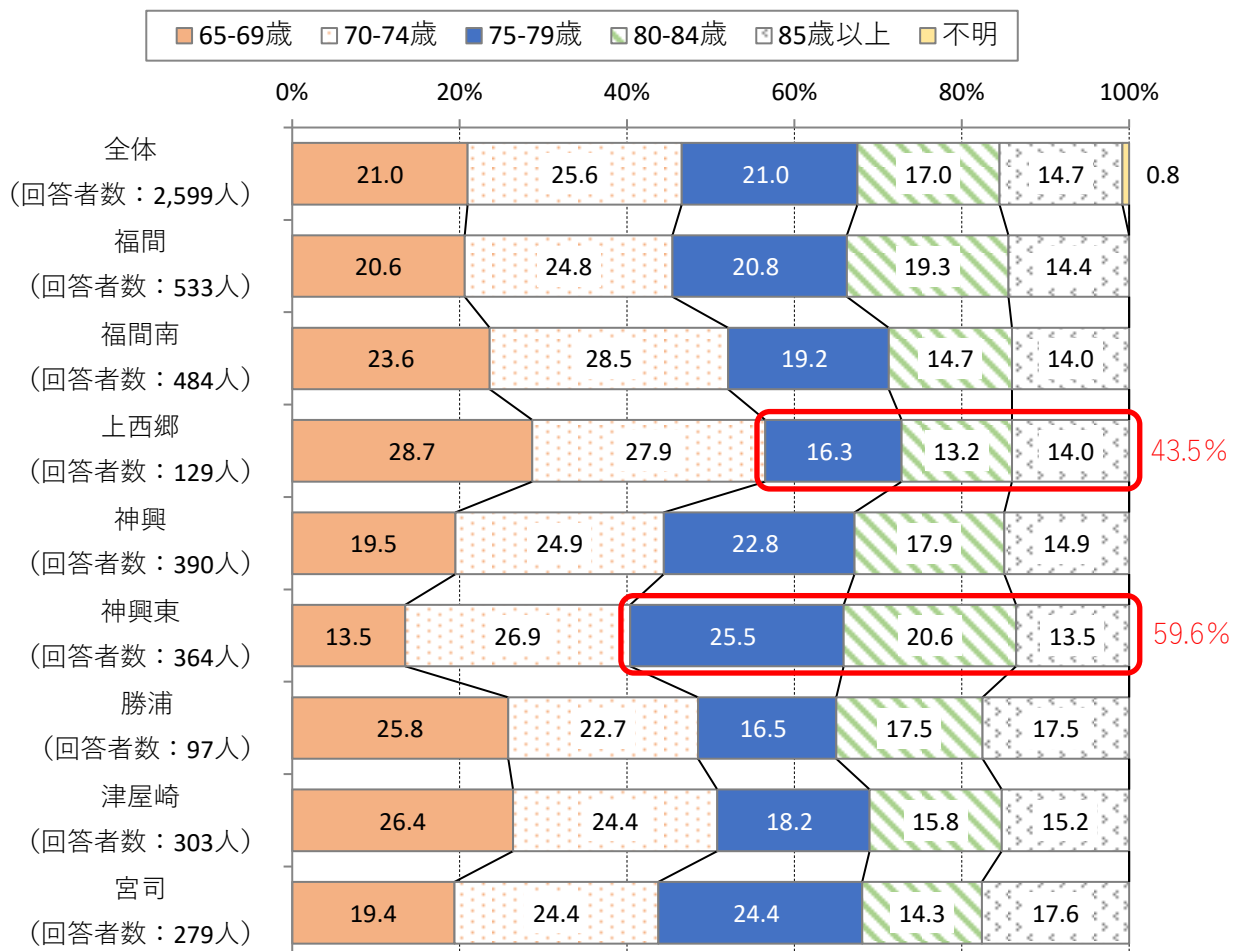
図表1 回答者の居住地



### (2) 年齢構成

- 回答者の年齢構成は図表2のとおりで、前期高齢者割合（46.6%）より後期高齢者割合（52.7%）の方が6.1ポイント高くなっています。
- 地区別に見ると、後期高齢者割合が最も高いのは「神興東」（59.6%）、最も低いのは「上西郷」（43.5%）となっています。

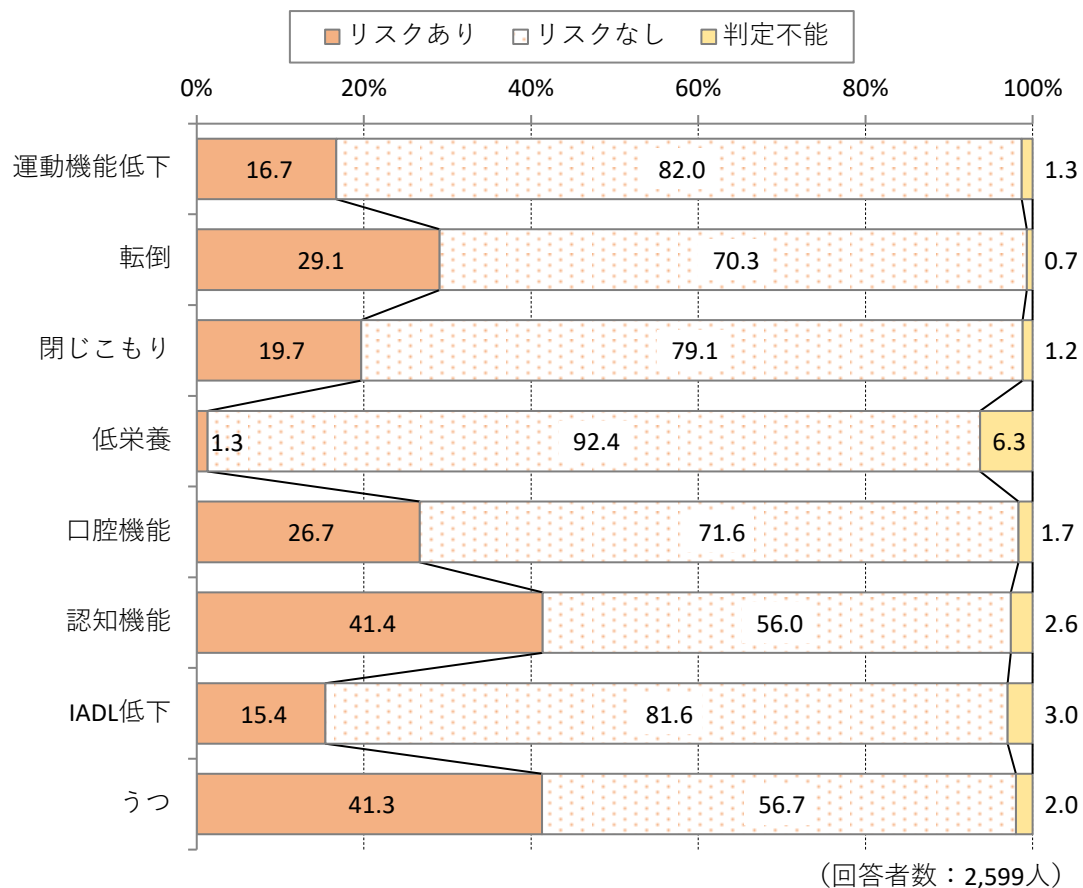
図表2 回答者の年齢構成



### 3 要介護度の悪化につながるリスクの発生状況

- 厚生労働省の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」によれば、地域包括ケアシステムの構築を進めるために、高齢者の要介護度の悪化につながるリスクの発生状況を地域ごとに把握、分析することが推奨されています。
- 国の基準に従って回答者のリスク発生状況を判定した結果は図表3のとおりです。

図表3 各種リスク判定結果（市全体）



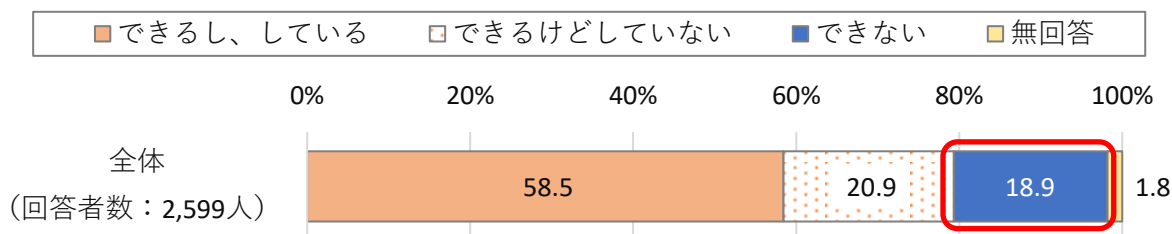
## 4 リスクの判定に関する設問の回答と地域ごとのリスク者割合

### (1) 運動器の機能低下リスク

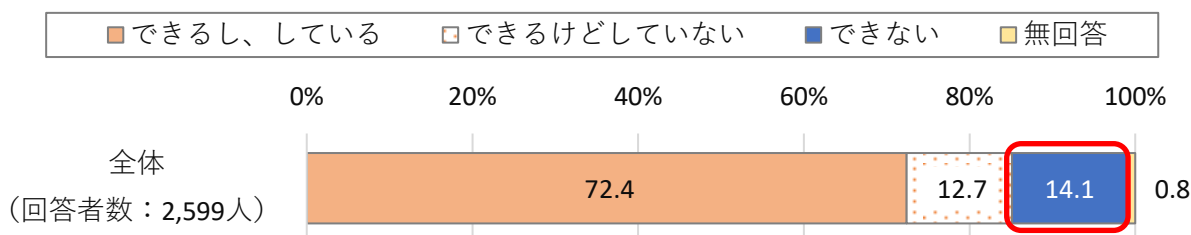
#### ① リスクの判定に関連する設問

- 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかという設問について、「できるし、している」と回答した人は 58.5%、「できるけどしていない」と回答した人は 20.9%、「できない」と回答した人は 18.9%となっています（図表4）。
- 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかという設問について、「できるし、している」と回答した人は 72.4%、「できるけどしていない」と回答した人は 12.7%、「できない」と回答した人は 14.1%となっています（図表5）。
- 15分位続けて歩いているかという設問について、「できるし、している」と回答した人は 74.6%、「できるけどしていない」と回答した人は 15.2%、「できない」と回答した人は 9.1%となっています（図表6）。
- 過去1年間に転んだ経験があるかという設問について、「何度もある」と回答した人は 9.2%、「1度ある」と回答した人は 19.9%、「ない」と回答した人は 70.3%となっています（図表7）。
- 転倒に対する不安は大きいかという設問について、「とても不安である」と回答した人は 15.4%、「やや不安である」と回答した人は 39.3%、「あまり不安でない」と回答した人は 24.7%、「不安でない」と回答した人は 19.9%となっています（図表8）。

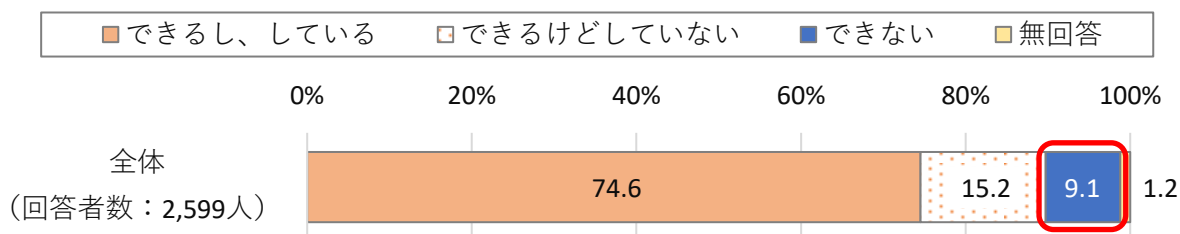
図表4 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。



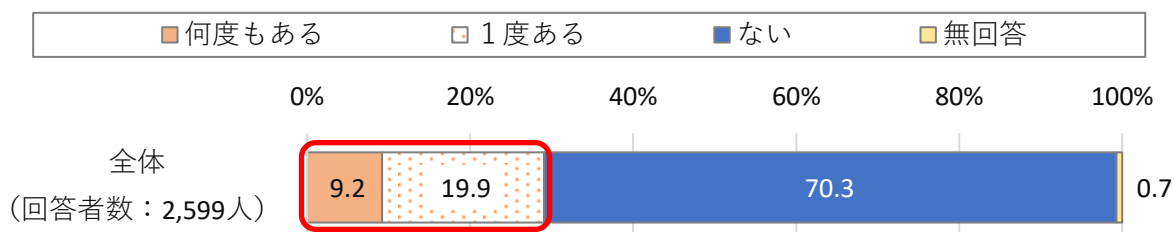
図表5 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。



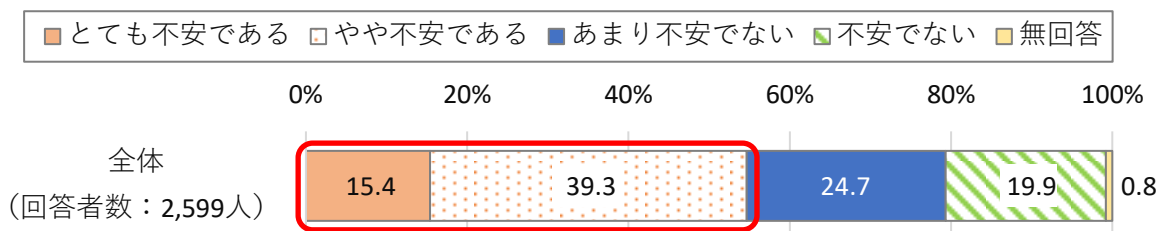
図表6 15分位続けて歩いていますか。



図表7 過去1年間に転んだ経験がありますか。



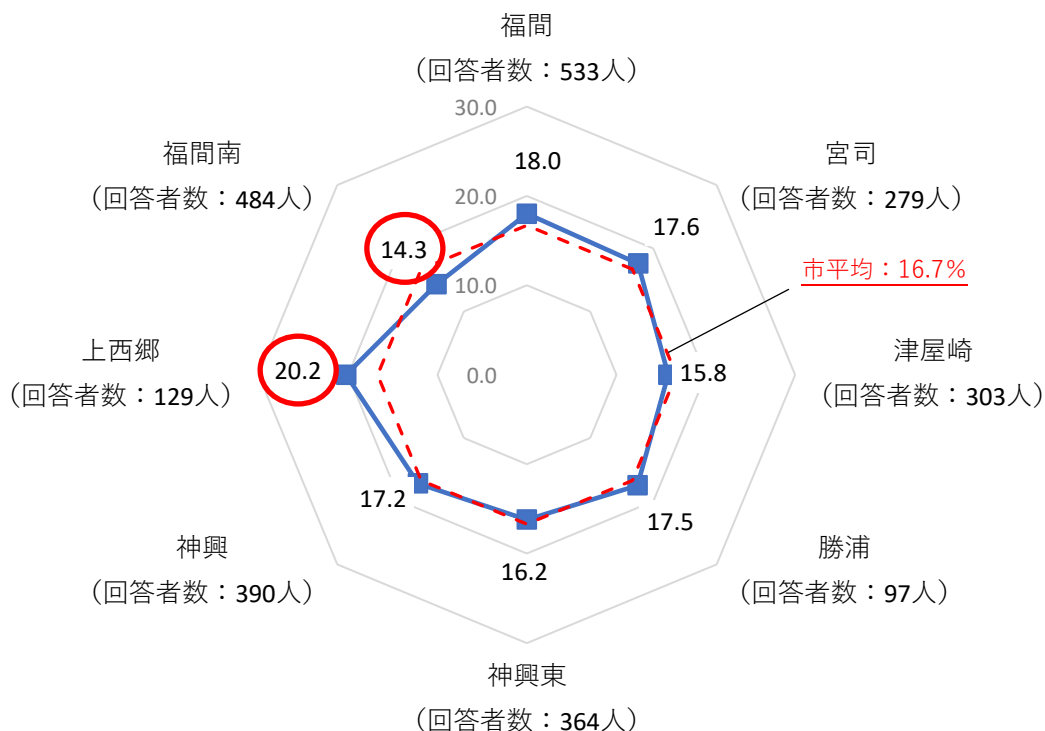
図表8 転倒に対する不安は大きいですか。



## ② 地域別のリスク者の状況

- 運動器機能低下のリスク者割合を地域別に見ると、最もリスク者割合の高い上西郷 (20.2%) と最もリスクの低い福間南 (14.3%) では、5.9ポイントの開きが見られます。

図表9 運動器の機能低下リスク（地域別）

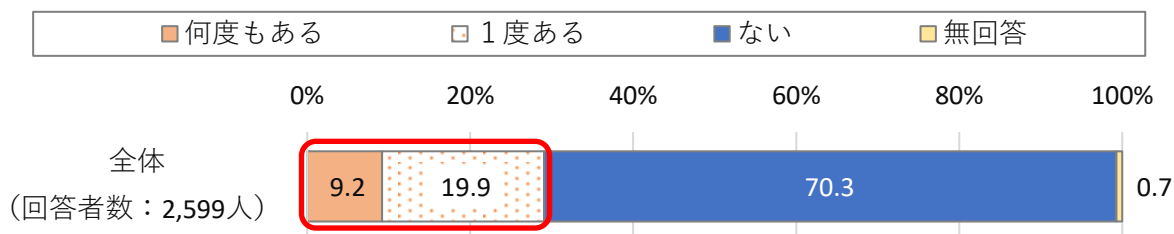


## (2) 転倒リスク

### ① リスクの判定に関連する設問

- 過去1年間に転んだ経験があるかという設問について、「何度もある」と回答した人は9.2%、「1度ある」と回答した人は19.9%、「ない」と回答した人は70.3%となっています（図表10）。

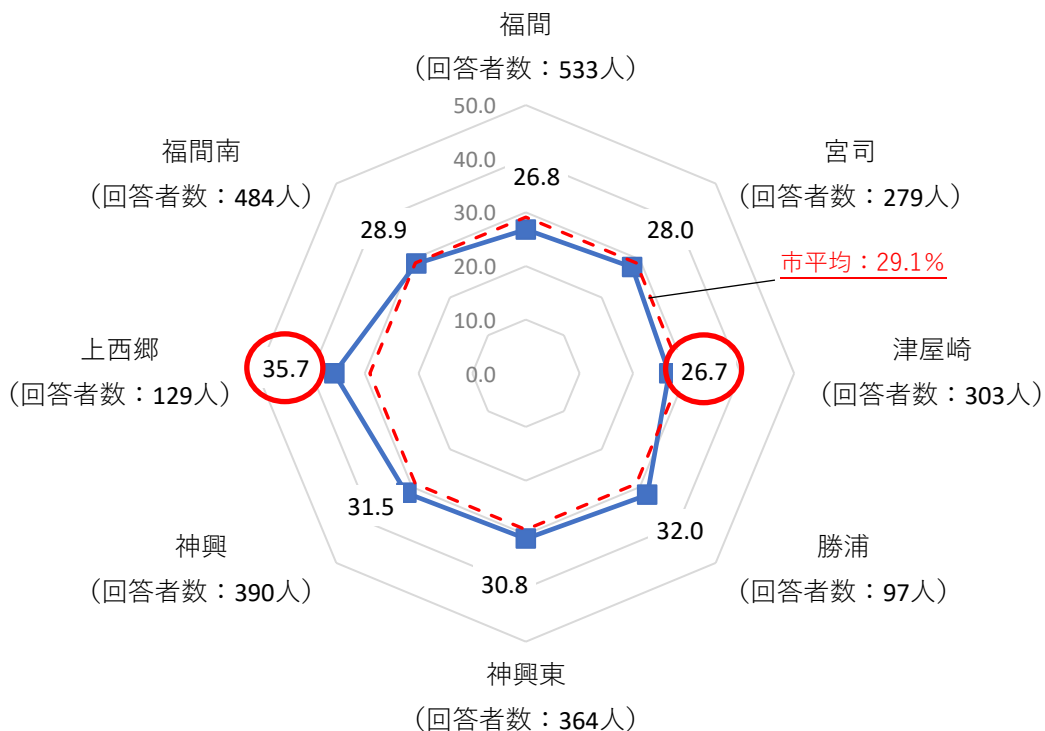
図表10 過去1年間に転んだ経験がありますか。（再掲）



### ② 地域別のリスク者の状況

- 転倒リスク者の割合を地域別に見ると、最もリスク者割合の高い上西郷（35.7%）と最もリスクの低い津屋崎（26.7%）では、9.0ポイントの開きが見られます。

図表11 転倒リスク（地域別）

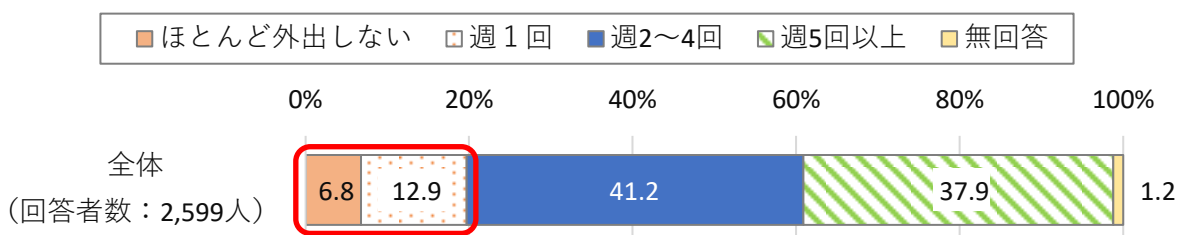


### (3) 閉じこもりリスク

#### ① リスクの判定に関連する設問

- 週に1回以上外出しているかという設問について、「ほとんど外出しない」と回答した人は6.8%、「週1回」と回答した人は12.9%、「週2～4回」と回答した人は41.2%、「週5回以上」と回答した人は37.9%となっています。

図表12 週に1回以上は外出していますか。

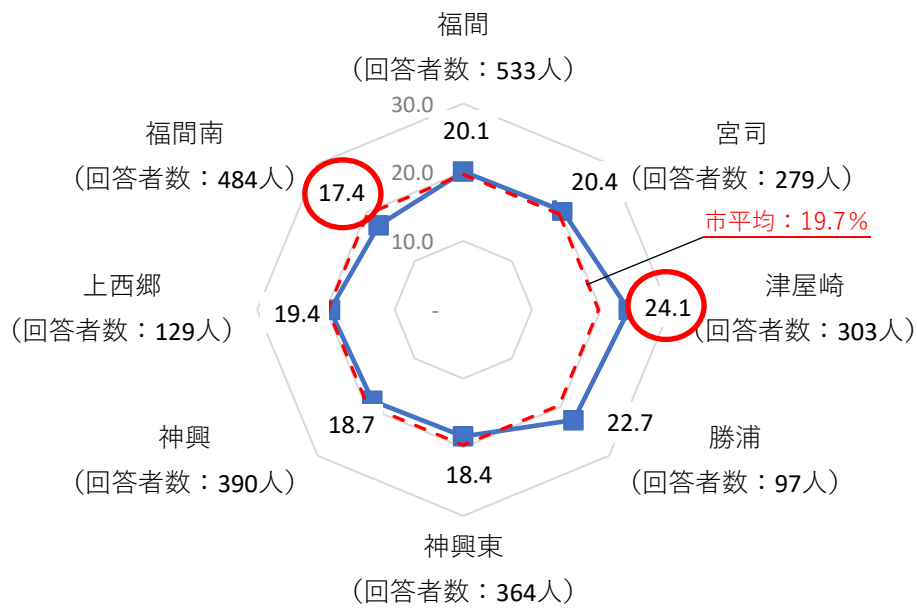




## ② 地域別のリスク者の状況

- 閉じこもりリスク者の割合を地域別に見ると、最もリスク者割合の高い津屋崎（24.1%）と最も低い福間南（17.4%）では、6.7ポイントの開きが見られます。

図表13 閉じこもりリスク（地域別）

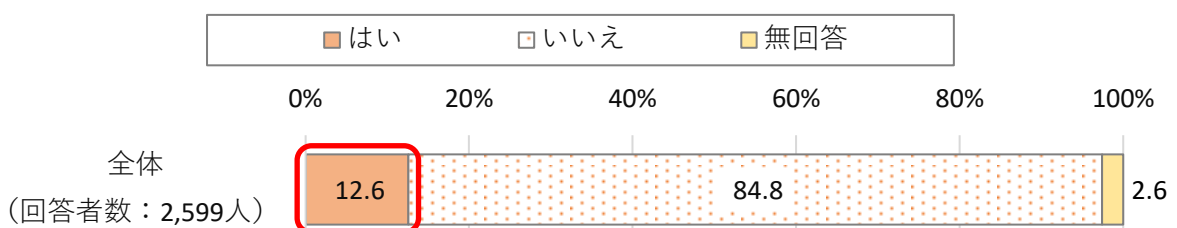


## (4) 低栄養リスク

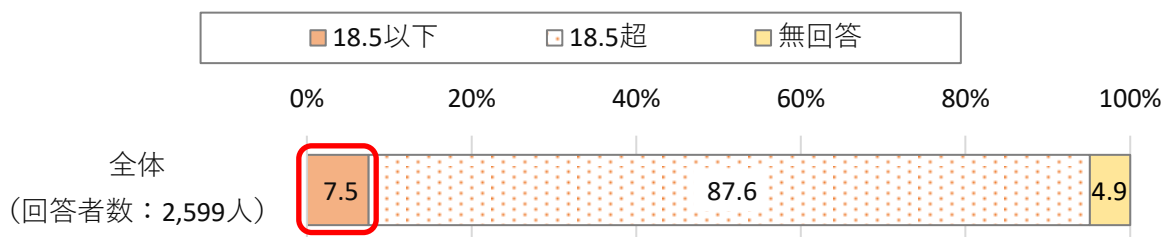
### ① リスクの判定に関連する設問

- 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかという設問について、「はい」と回答した人は12.6%、「いいえ」と回答した人は84.8%となっています（図表14）。
- BMIが「18.5以下」となった人は7.5%、「18.5超」となった人は87.6%となっています（図表15）。

図表14 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。



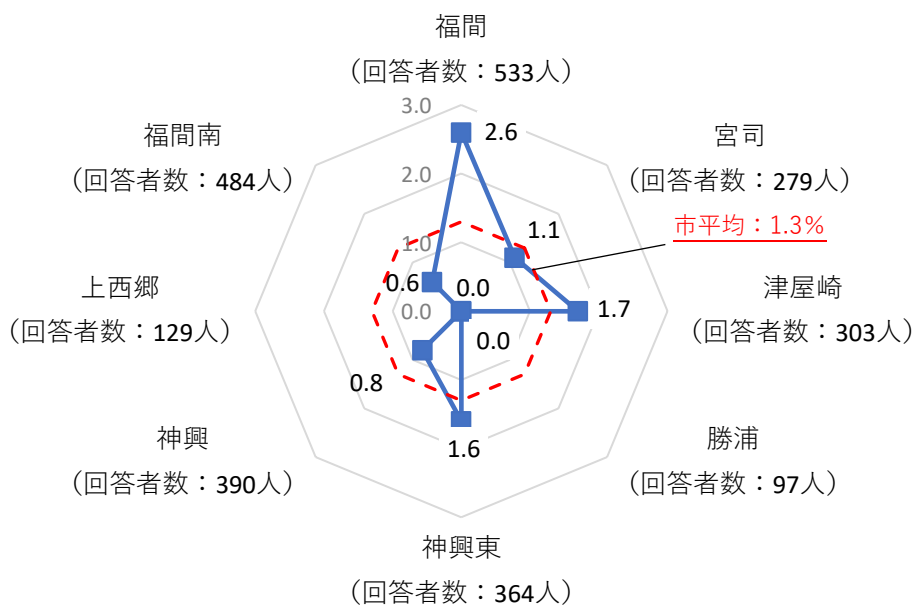
図表15 BMI 数値（18.5以下で痩せすぎ）



② 地域別のリスク者の状況

- 低栄養リスク者の割合を地域別に見ると、最もリスク者割合の高い福間（2.6%）と最も低い勝浦、上西郷（0.0%）では、2.6ポイントの開きが見られますが、低栄養リスク者の割合については、市全体で1.3%という低い割合のため、地域差を読み取るのは困難です。

図表16 低栄養リスク（地域別）

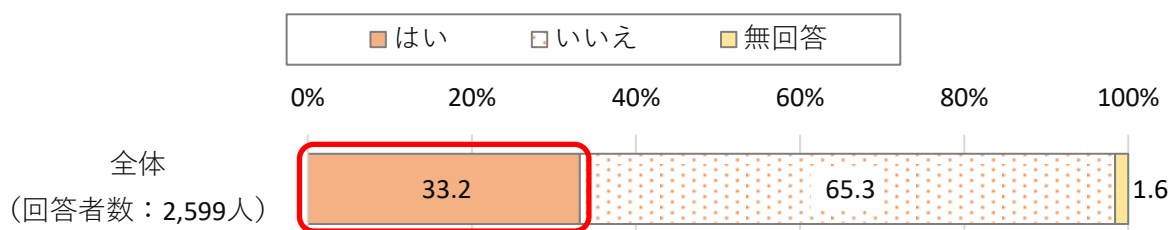


## (5) 口腔機能の低下リスクに関する設問

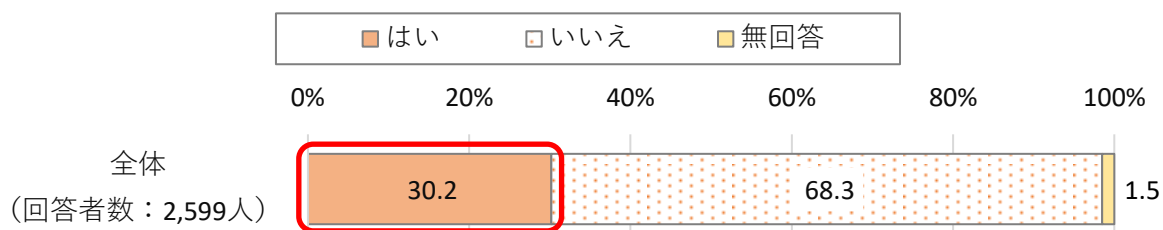
### ① リスクの判定に関連する設問

- 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかという設問について、「はい」と回答した人は33.2%、「いいえ」と回答した人は65.3%となっています（図表17）。
- お茶や汁物等でむせることがあるかという設問について、「はい」と回答した人は30.2%、「いいえ」と回答した人は68.3%となっています（図表18）。
- 口の渇きが気になるかという設問について、「はい」と回答した人は29.2%、「いいえ」と回答した人は69.0%となっています（図表19）。

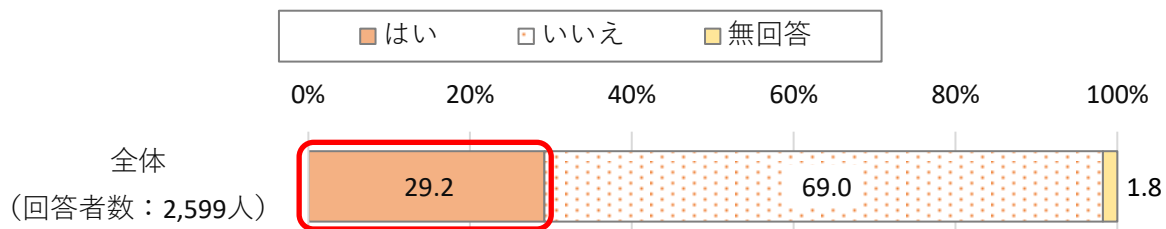
図表17 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。



図表18 お茶や汁物等でむせることがありますか。



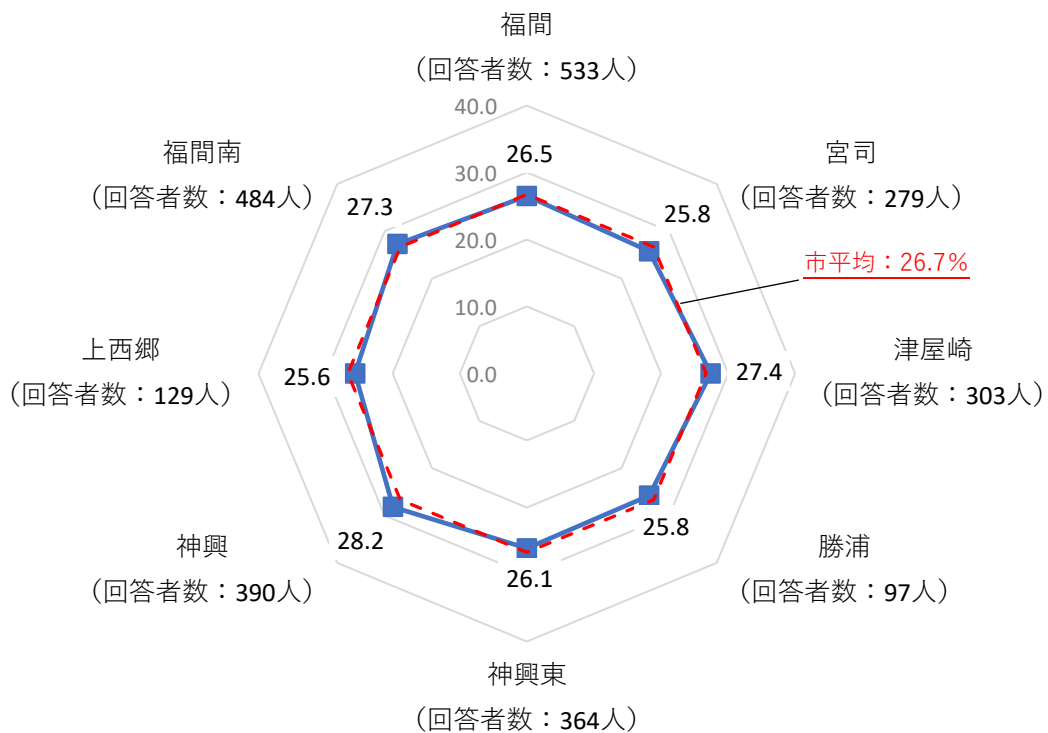
図表19 口の渇きが気になりますか。



## ② 地域別のリスク者の状況

- 口腔機能の低下リスク者の割合を地域別に見ると、最もリスク者割合の高い神興（28.2%）と最も低い上西郷（25.6%）を比べても2.6ポイントの開きしかなく、あまり地域差が見られません。

図表20 口腔機能低下リスク（地域別）

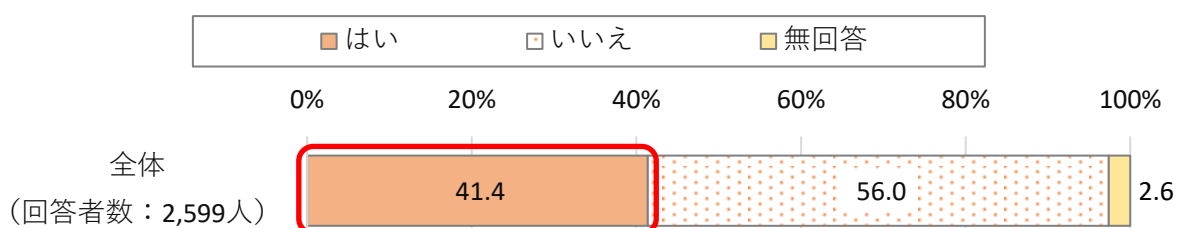


## (6) 認知機能低下リスクに関する設問

### ① リスクの判定に関連する設問

- 物忘れが多いかという設問について、「はい」と回答した人は41.4%、「いいえ」と回答した人は56.0%となっています。

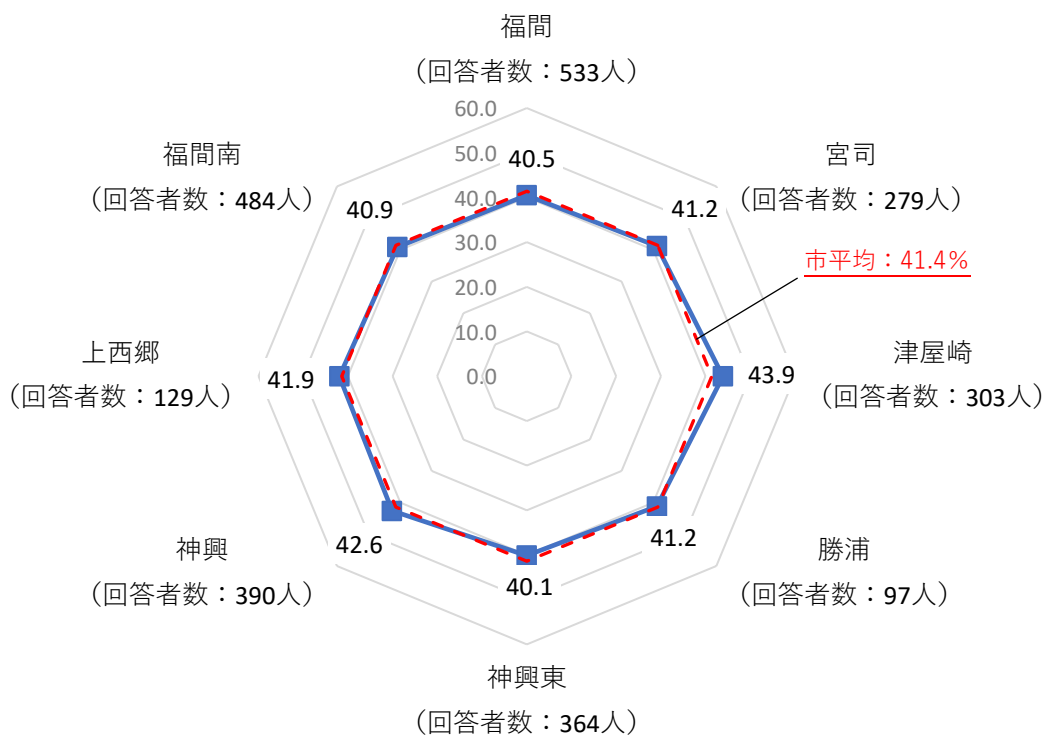
図表21 物忘れが多いと感じますか。



## ② 地域別のリスク者の状況

- 認知機能の低下リスク者の割合を地域別に見ると、最もリスク者割合の高い津屋崎 (43.9%) と最も低い神興東 (40.1%) を比べても 3.8 ポイントの開きしかなく、あまり地域差が見られません。

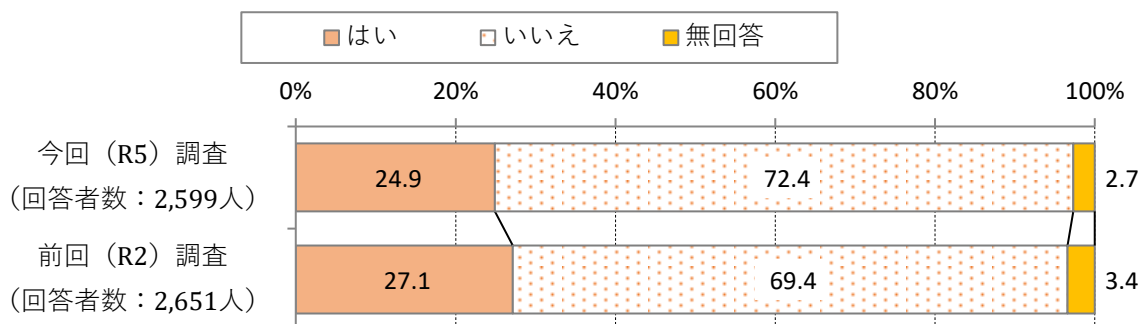
図表22 認知機能低下リスク (地域別)



## 参考) 認知症相談窓口の認知度

- 認知症相談窓口の認知度は、前回 (令和2年度) 調査結果に比べ 2.2 ポイント低下しています。

図表23 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(前回調査結果との比較)

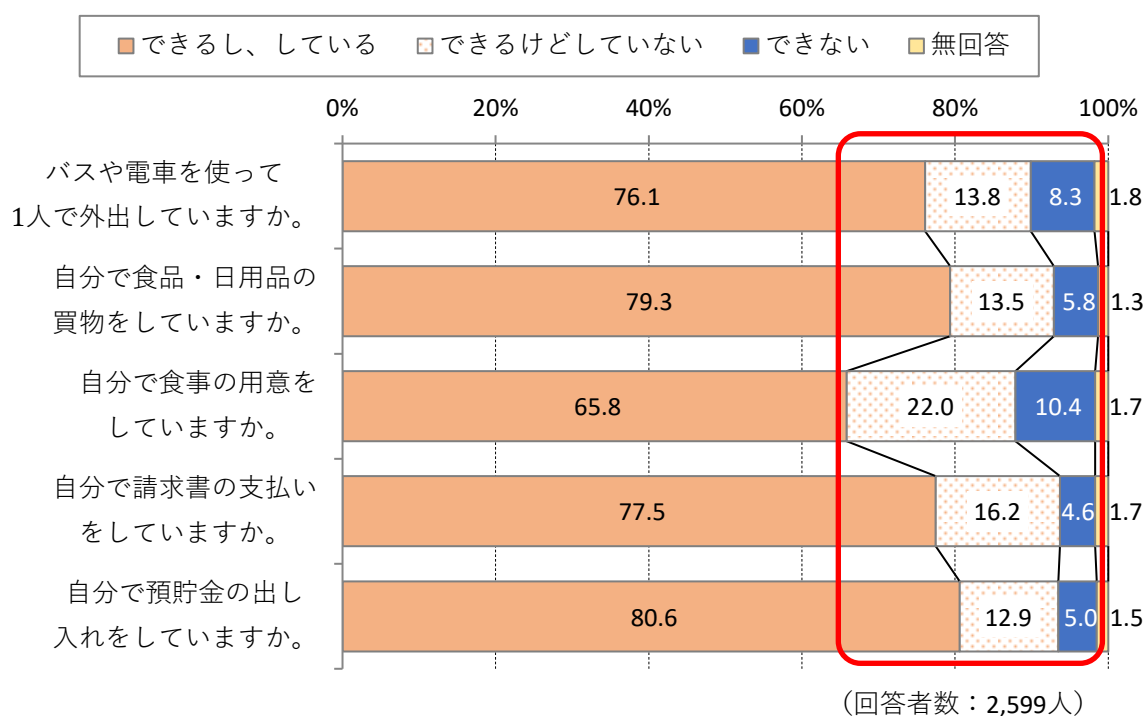


## (7) IADL（手段的日常生活動作）の低下に関する設問

### ① リスクの判定に関連する設問

- バスや電車を使って1人で外出しているかという設問について、「できるけどしていない」または「できない」と回答した人は22.1%となっています。
- 自分で食品・日用品の買物をしているかという設問について、「できるけどしていない」または「できない」と回答した人は19.3%となっています。
- 自分で食事の用意をしているかという設問について、「できるけどしていない」または「できない」と回答した人は32.4%となっています。
- 自分で請求書の支払いをしているかという設問について、「できるけどしていない」または「できない」と回答した人は20.8%となっています。
- 自分で預貯金の出し入れをしているかという設問について、「できるけどしていない」または「できない」と回答した人は17.9%となっています。

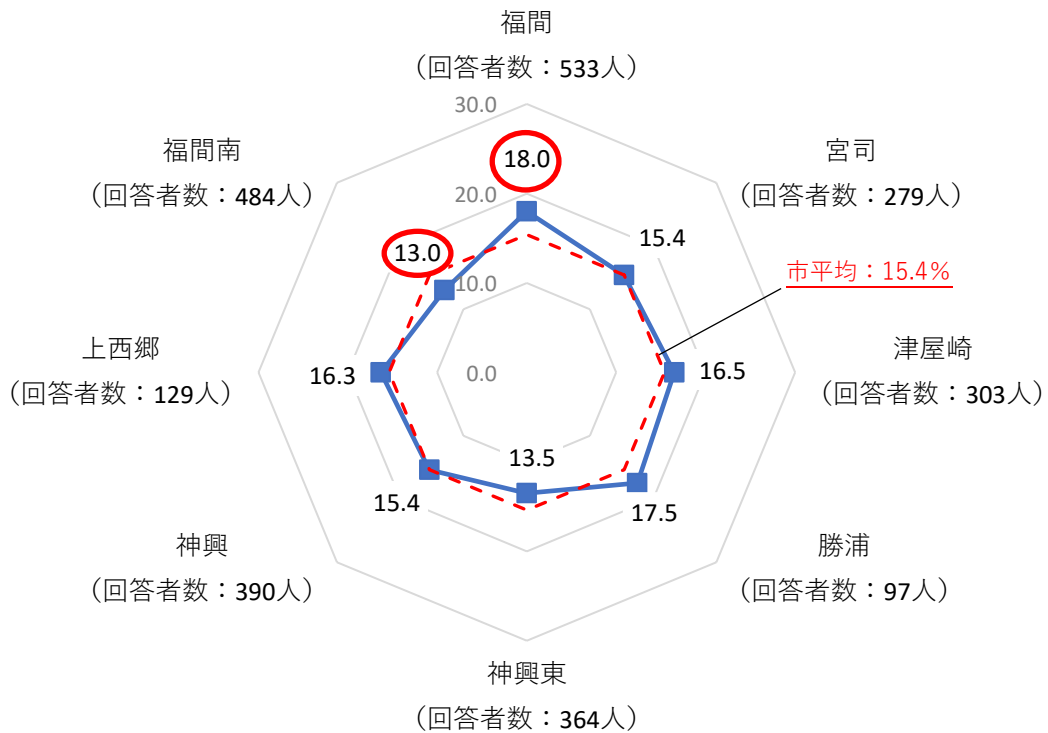
図表24 IADL（手段的日常生活動作）の低下



## ② 地域別のリスク者の状況

- IADL低下リスク者の割合を地域別に見ると、最もリスク者割合の高い福間（18.0%）と最も低い福間南（13.0%）では、5.0ポイントの開きが見られます。

図表25 IADL 低下リスク（地域別）

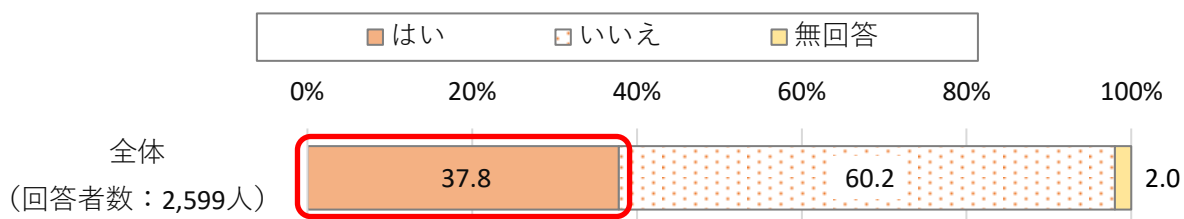


## (8) うつ傾向のリスクに関する設問

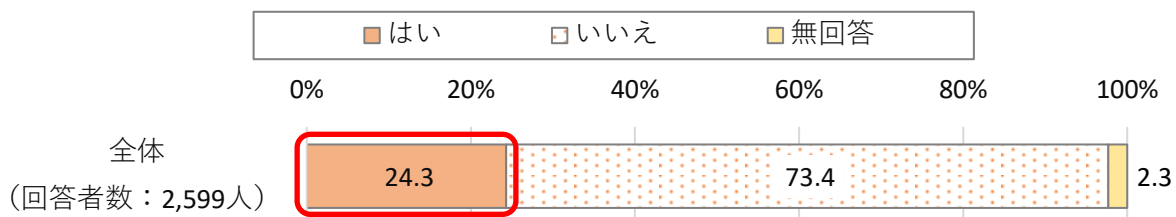
### ① リスクの判定に関連する設問

- この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかという設問に対して、「はい」と回答した人は37.8%、「いいえ」と回答した人は60.2%となっています。
- この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかという設問に対して、「はい」と回答した人は24.3%、「いいえ」と回答した人は73.4%となっています。

図表26 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。



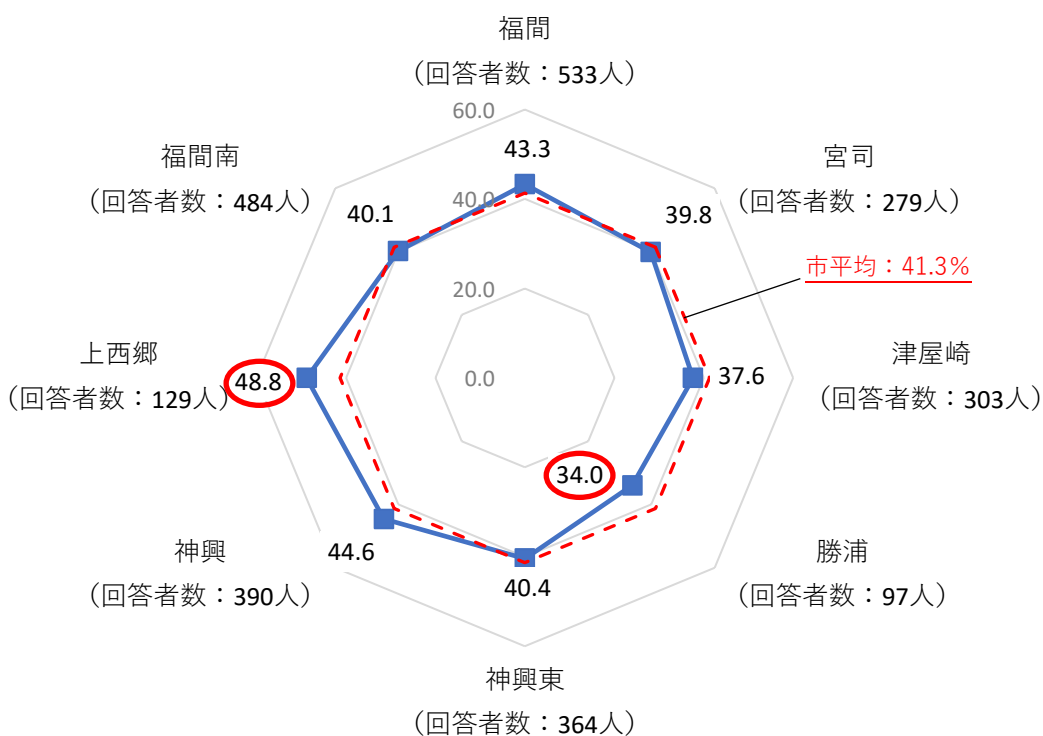
図表27 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。



## ② 地域別のリスク者の状況

- うつ傾向リスク者の割合を地域別に見ると、最もリスク者割合の高い上西郷 (48.8%) と最も低い勝浦 (34.0%) では、14.8ポイントの開きが見られます。

図表28 うつ傾向リスク (地域別)

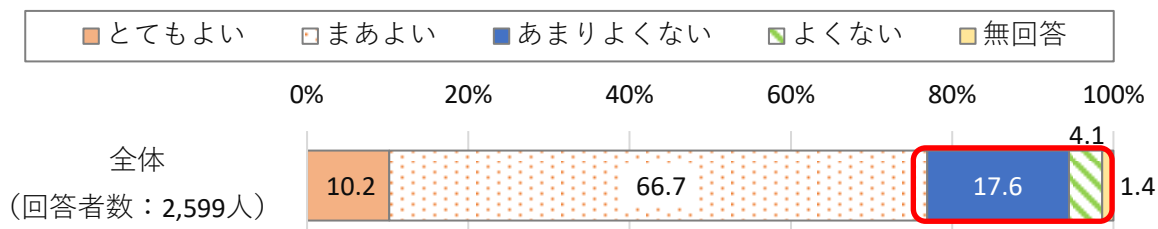




## 5 現在の健康状態（主観的健康感）について

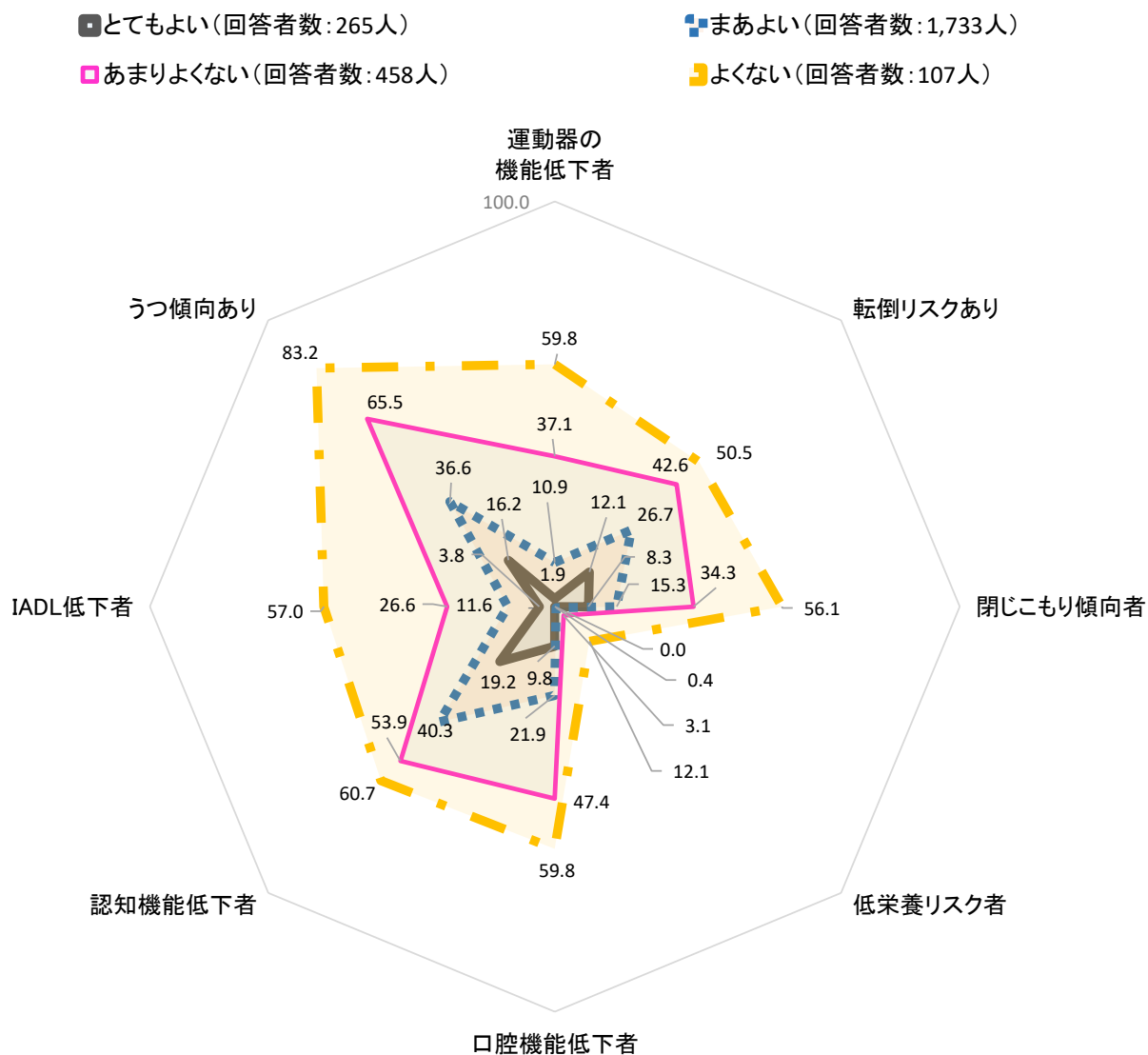
- 現在の健康状態について、「とてもよい」または「まあよい」と回答した人の割合は、全体の76.9%、「あまりよくない」または「よくない」と回答した人の割合は21.7%となっています。

図表29 現在の健康状態（主観的健康感）



- 主観的健康感と各リスク者割合との関係を見ると、主観的健康感がよい人ほど、リスク者の割合が低くなる傾向にあることが分かります。

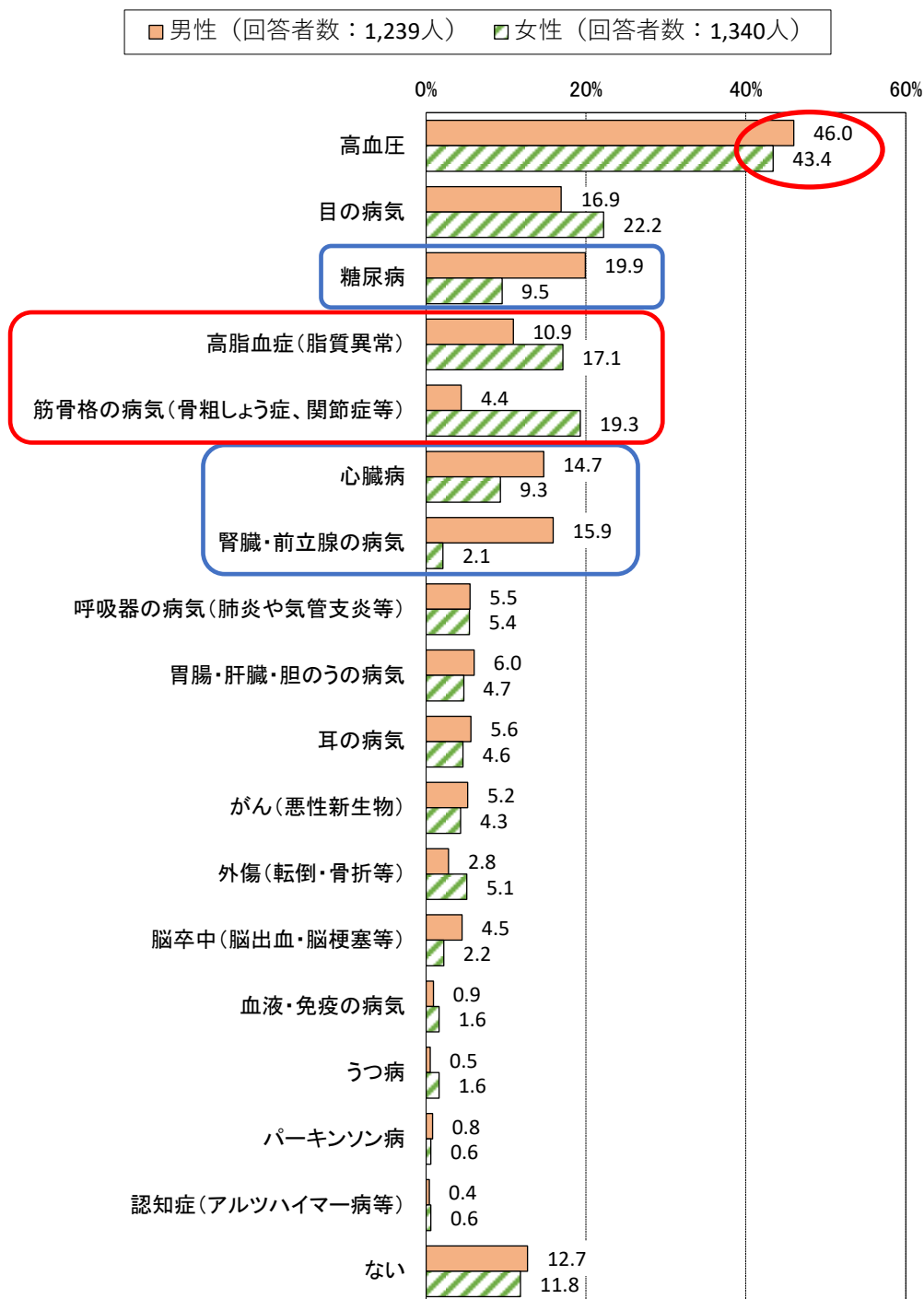
図表30 主観的健康感と各リスク者割合との関係



## 6 現在治療中または後遺症のある病気について

- 現在治療中または後遺症のある病気については、男女ともに高血圧(男性:46.0%、女性:43.4%)が最も多くなっています。
- 男女別に見ると、「高脂血症(脂質異常)」「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」は男性に比べ女性の方が割合が高くなっており、「糖尿病」「心臓病」「腎臓・前立腺の病気」は、女性に比べ男性の方が割合が高くなっています。

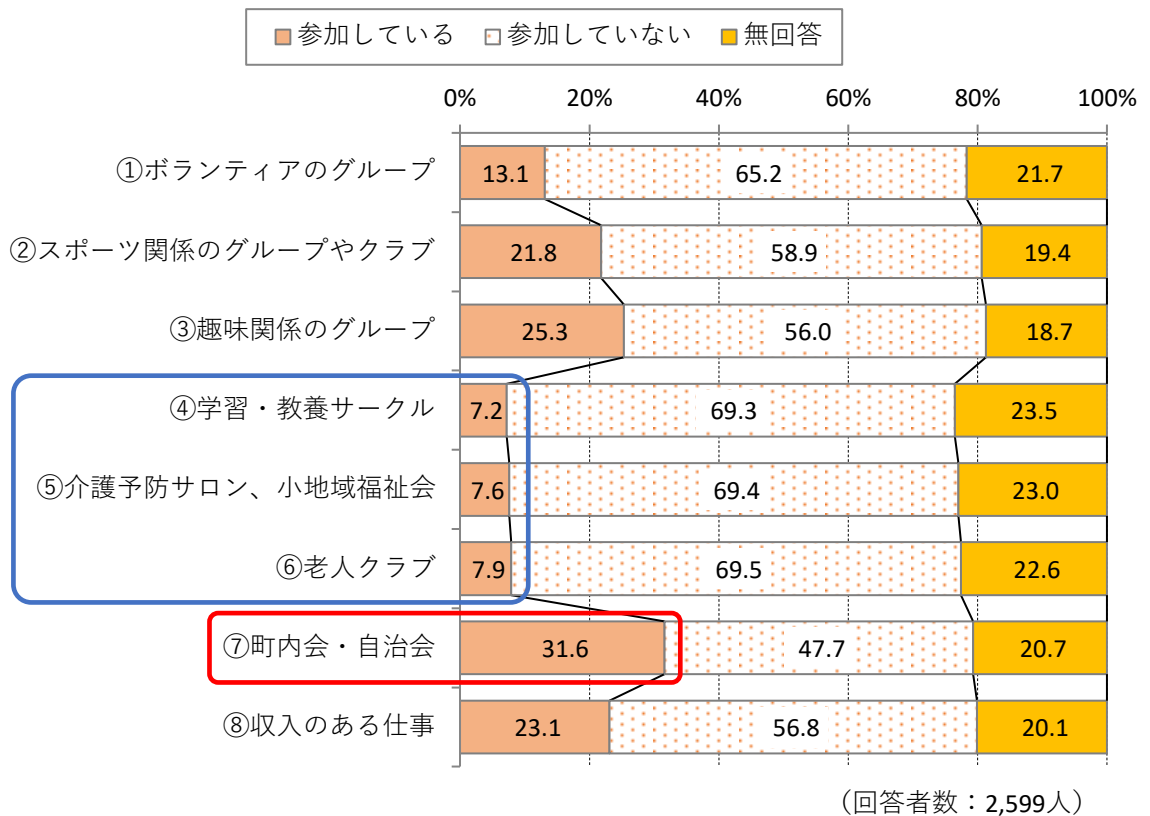
図表31 現在治療中また後遺症のある病気(男女別)



## 7 地域活動への参加状況について

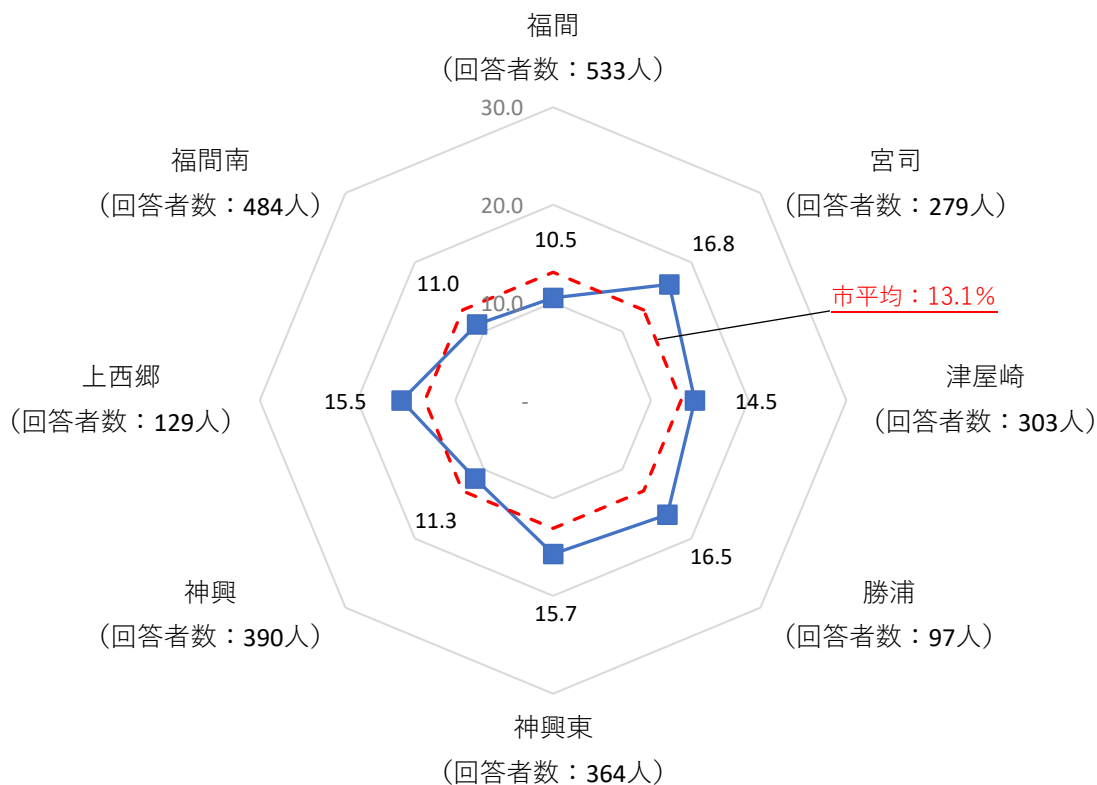
- 地域での活動への参加状況を市全体で見ると、「町内会・自治会」への参加割合は31.6%と比較的高い一方で、「学習・教養サークル」「介護予防サロン、小地域福祉会」「老人クラブ」への参加割合は7%台と低いことが分かります。

図表32 地域活動への参加状況

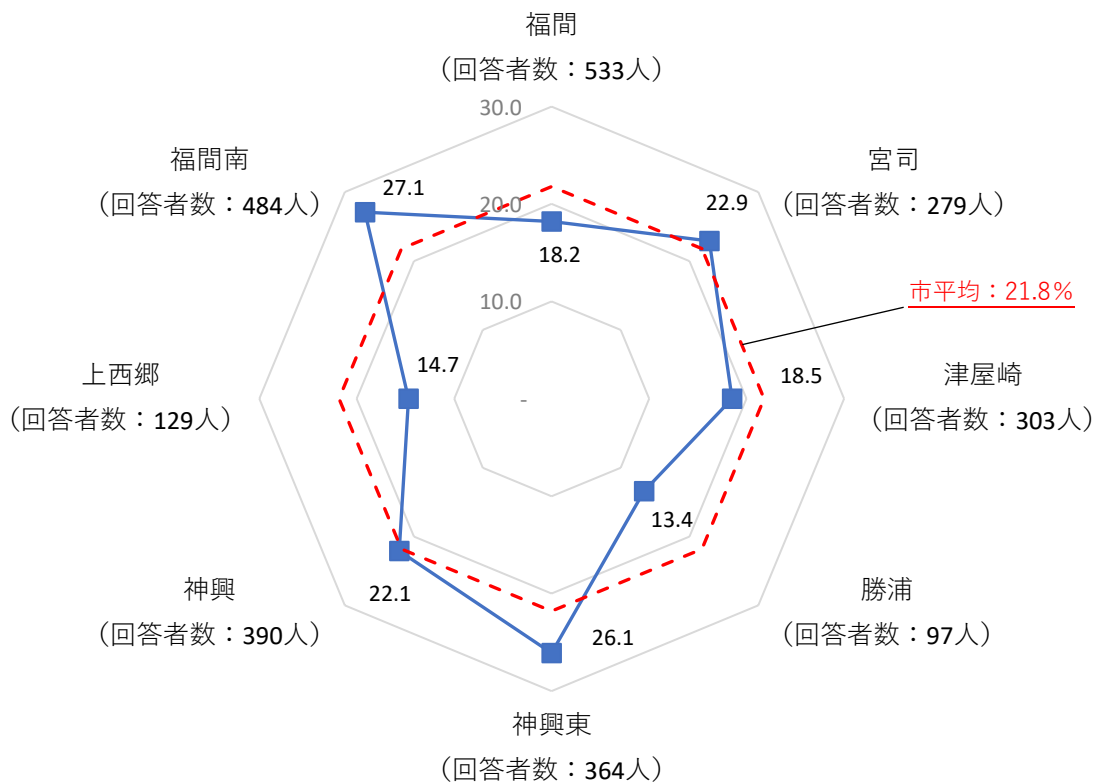


- これを居住地区別に見ると、それぞれの参加状況の違い（図表 33～40 参照）から地域における社会資源の状況を推測することができます。
- 参加割合の低い活動については、それぞれの圏域でその活動の場となる社会資源の不足が疑われる一方、参加割合の高い活動については、それぞれの圏域で活動の場となる社会資源がある程度整っていると評価できますし、それをさらに活用し高齢者の社会参加を促進する施策の検討も可能です。

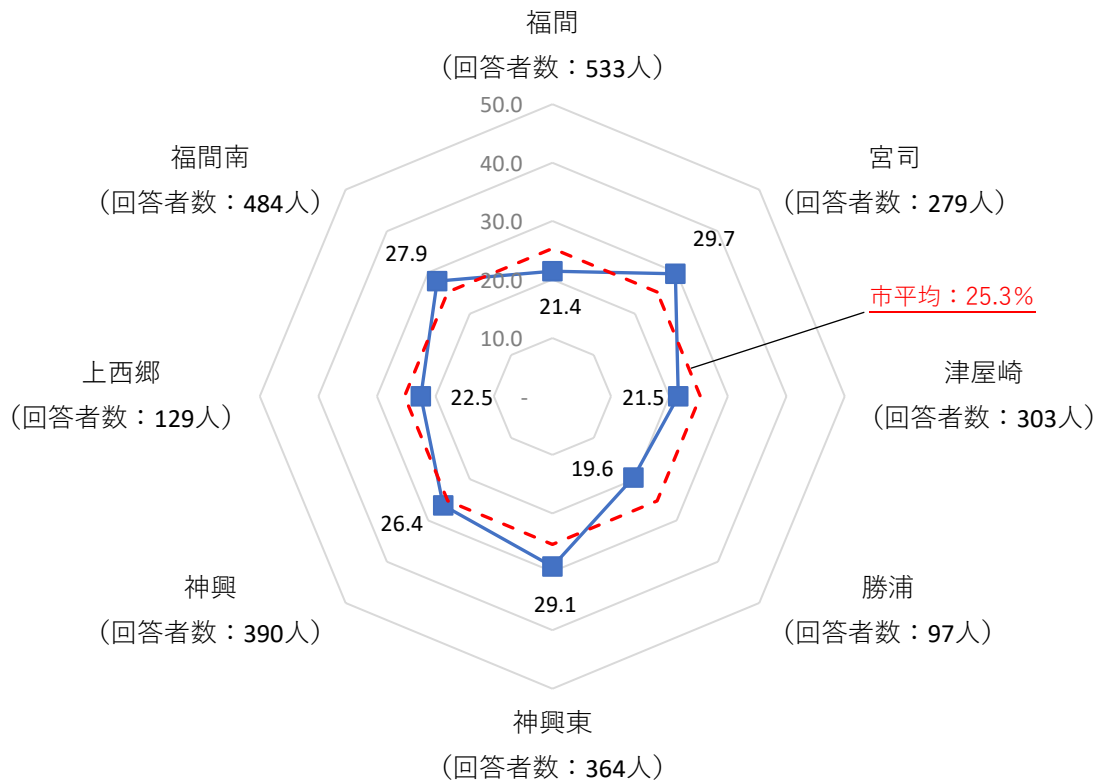
図表33 ①ボランティアのグループへの参加割合（地域別）



図表34 ②スポーツ関係のグループやクラブへの参加割合（地域別）



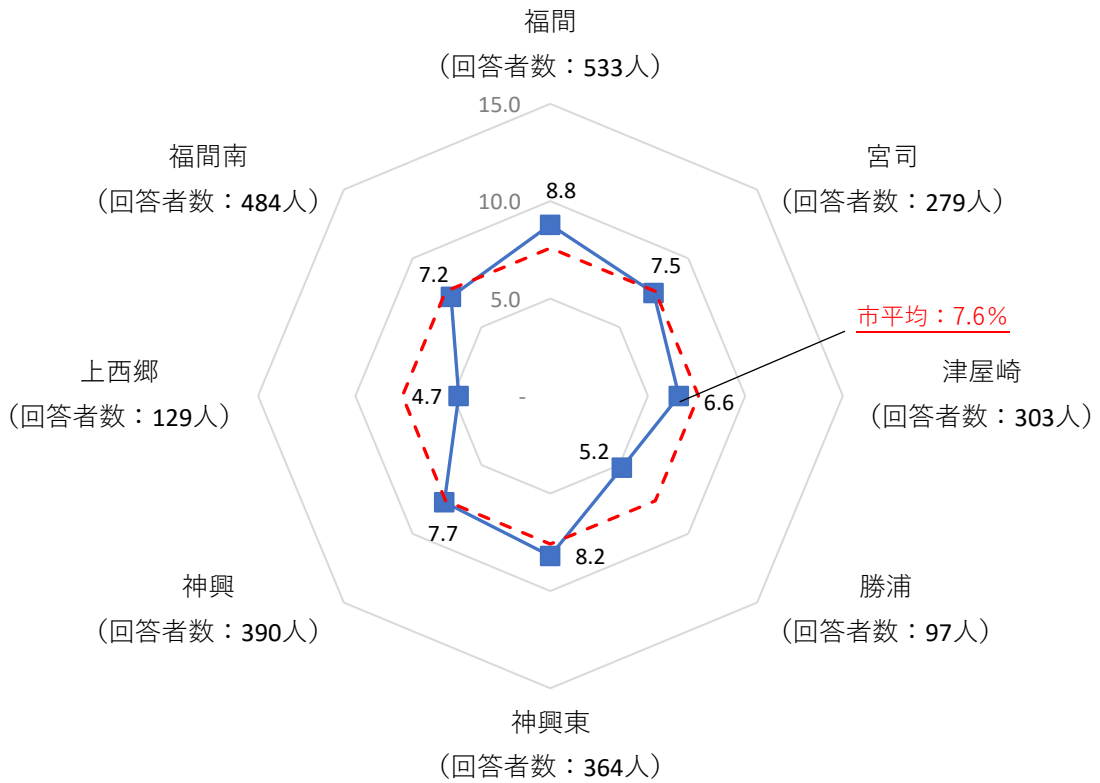
図表35 ③趣味関係のグループへの参加割合（地域別）



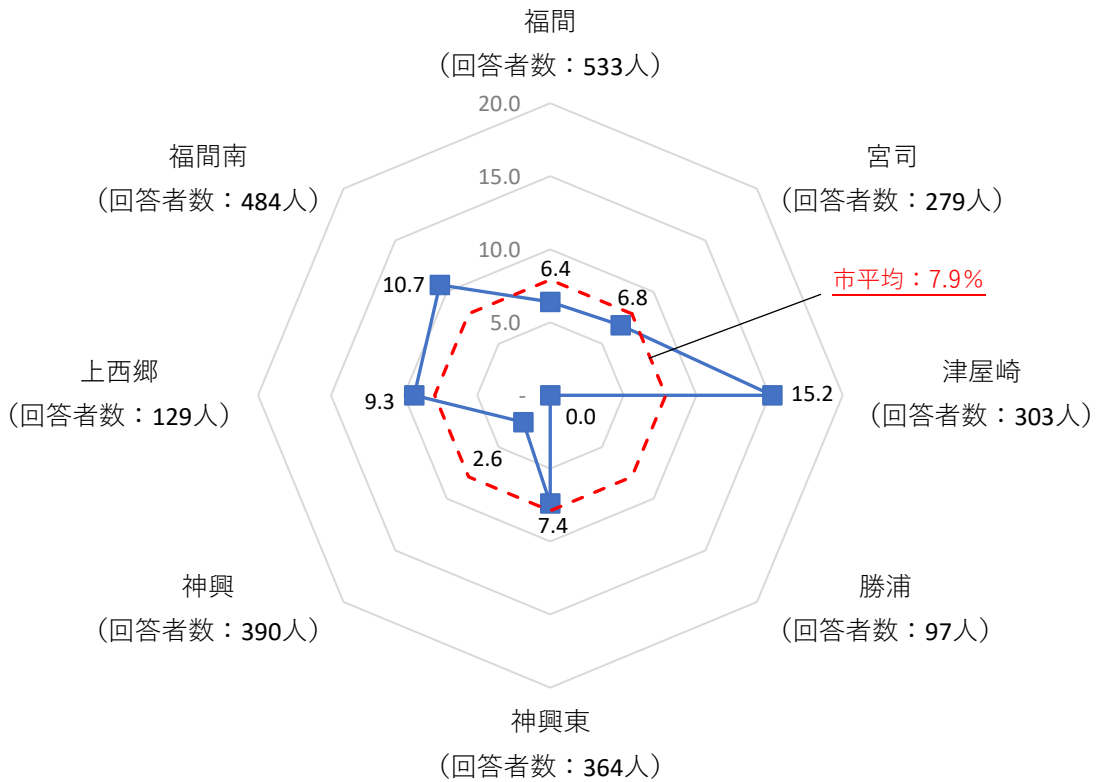
図表36 ④学習・教養サークルへの参加割合（地域別）



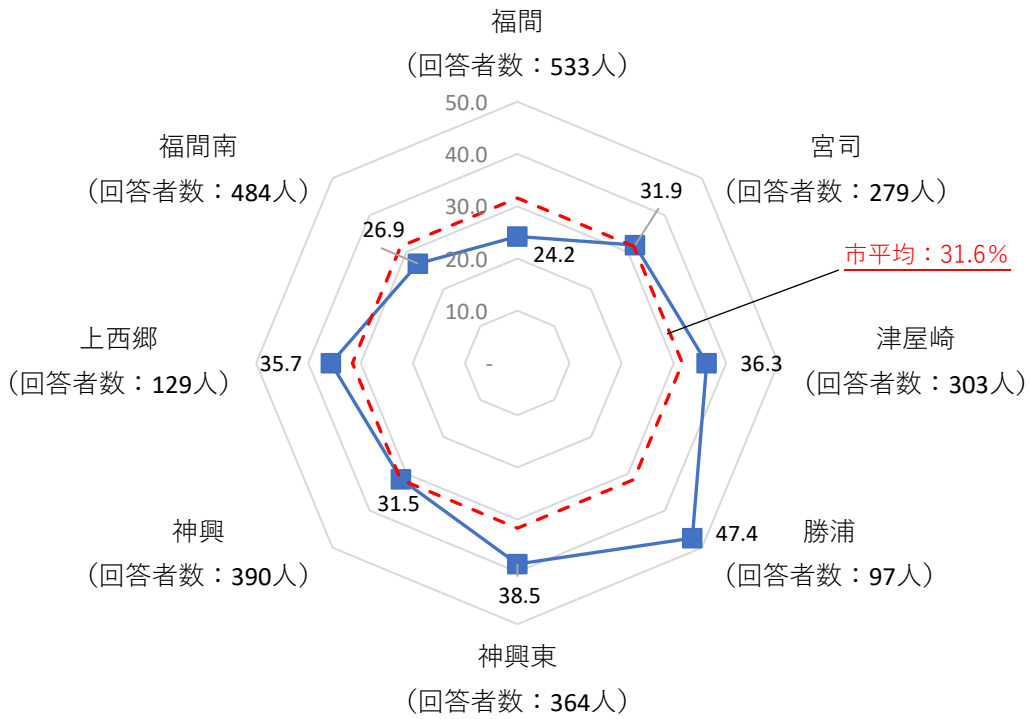
図表37 ⑤介護予防サロン、小地域福祉会への参加割合（地域別）



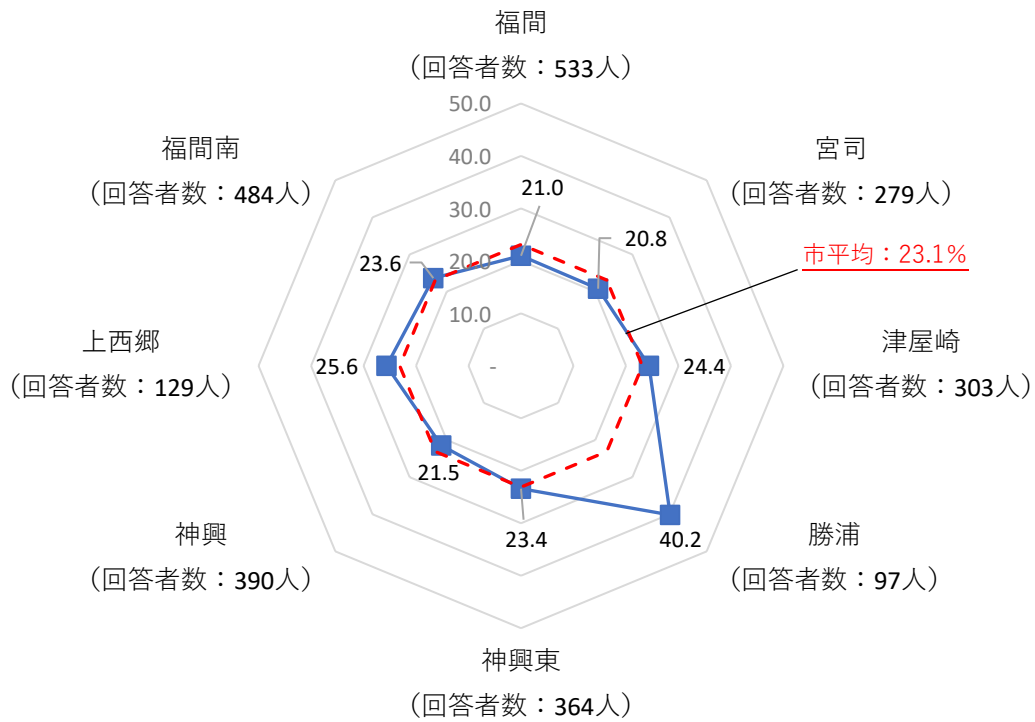
図表38 ⑥老人クラブへの参加割合（地域別）



図表39 ⑦町内会・自治会への参加割合（地域別）



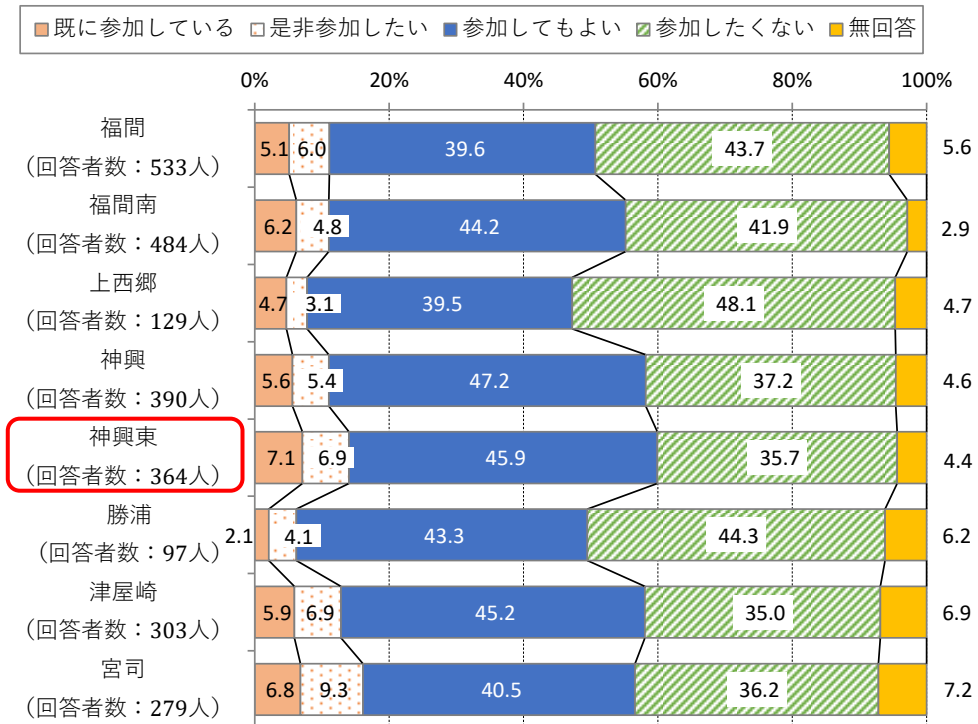
図表40 ⑧収入のある仕事への参加割合（地域別）



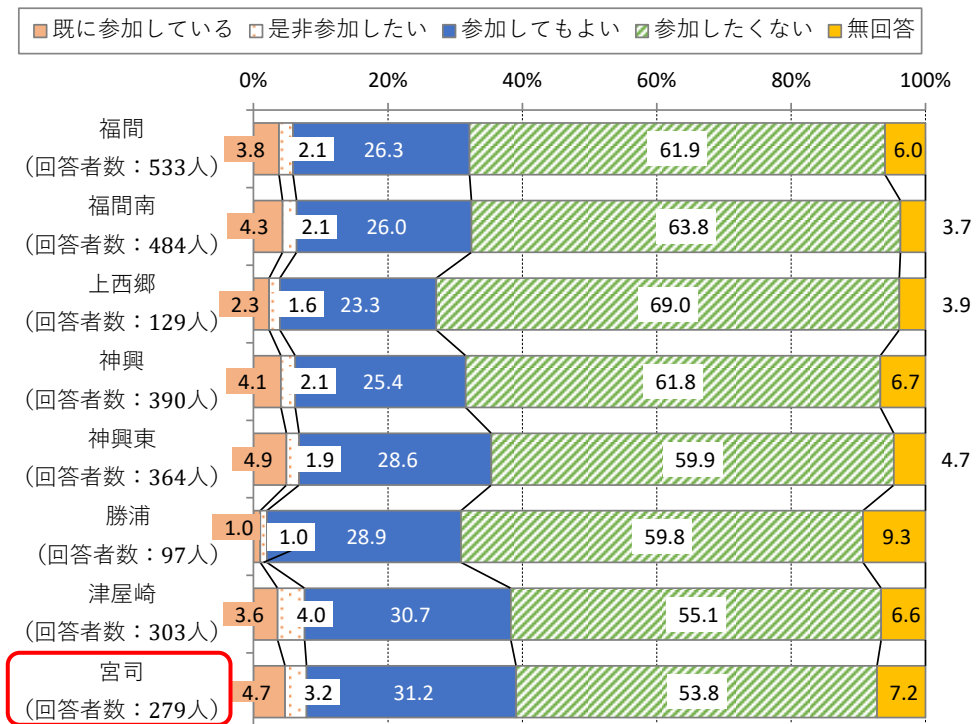
## 8 地域づくりの場への参加意向について

- 地域づくりの場への参加意向を居住地別に見ると、「既に参加している」人も含め「是非参加したい」「参加してもよい」と回答した人の割合が最も高かったのは、参加者としては「神興東」(59.9%)、世話役としては「宮司」(39.1%)となっています。

図表41 地域づくりの場への参加者としての参加意向（地域別）



図表42 地域づくりの場への世話役としての参加意向（地域別）

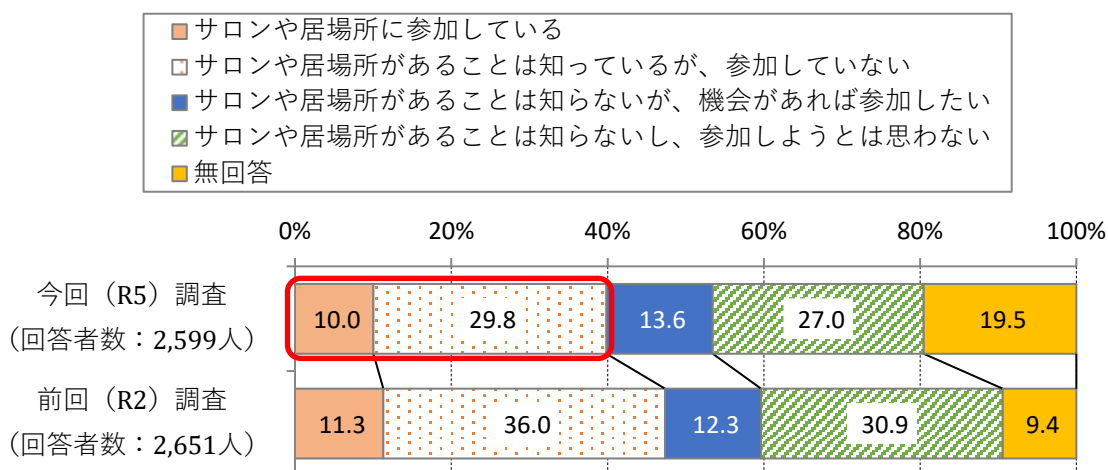




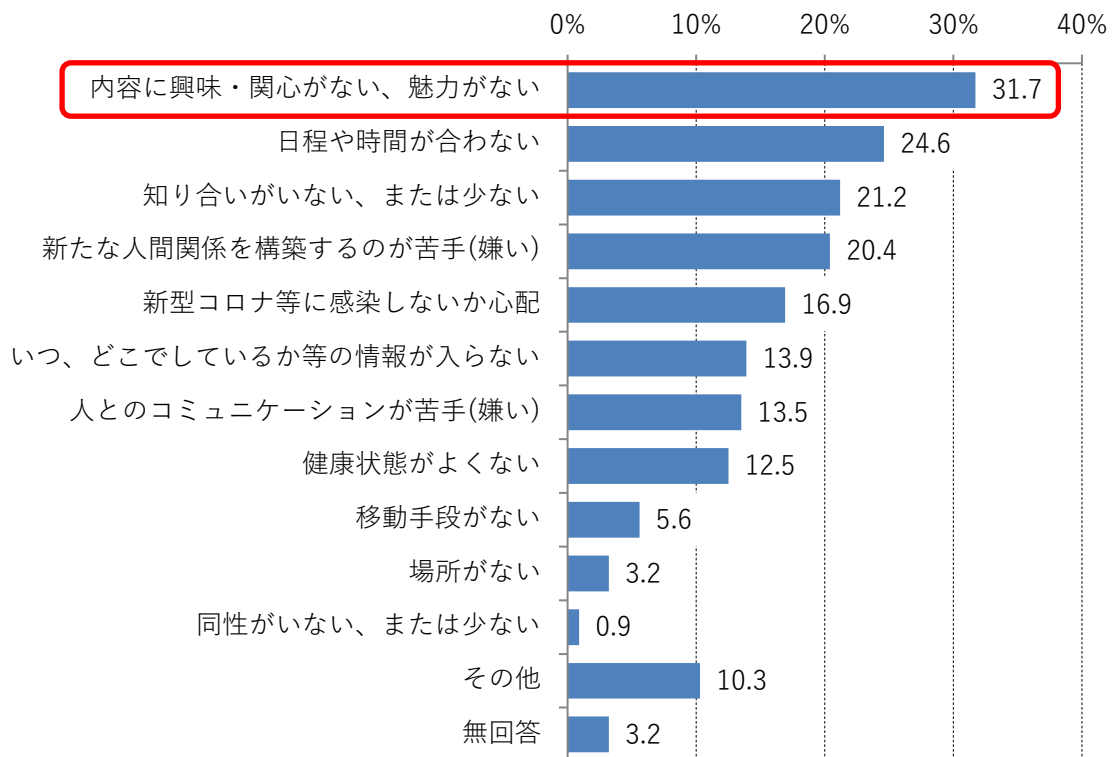
## 9 サロンや居場所の認知度・利用状況について

- サロンや居場所の認知度は39.8%で、前回調査結果に比べ7.5ポイント低下しています。
- サロンや居場所に参加していない（参加しようと思わない）理由については、「内容に興味・関心がない、魅力がない」が31.7%と、最も多くなっています。
- 「新型コロナ等に感染しないか心配」という理由を回答した人の割合は16.9%となっています。

図表43 自宅の近くにサロンや居場所がありますか。また、参加していますか。  
(前回調査結果との比較)



図表44 サロンや居場所に参加していない（参加しようと思わない）理由

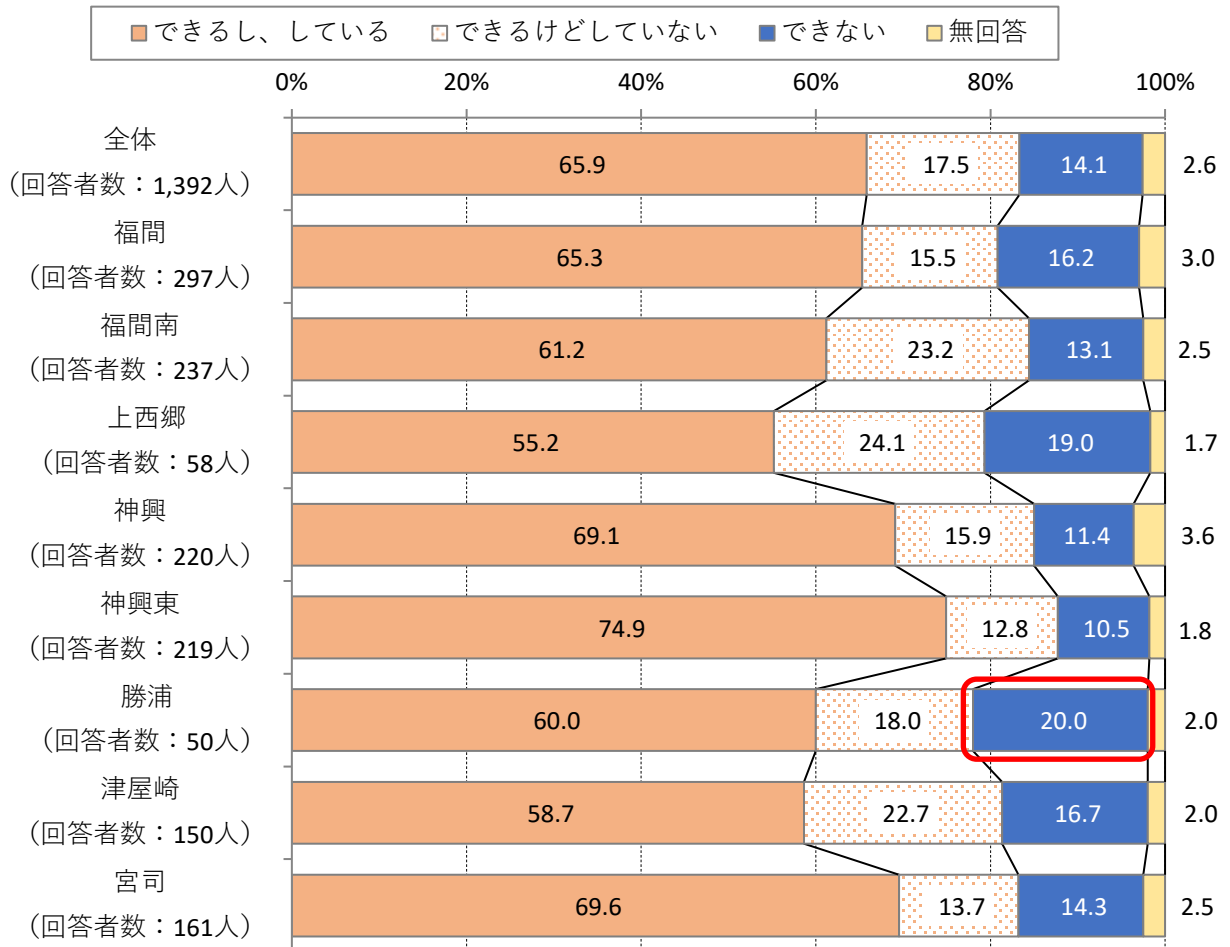


(回答者数: 1,477人)

## 10 移動支援に関するニーズについて

- 75 歳以上または要支援者の外出状況を居住地区別に見ると、バスや電車を使って一人で外出「できない」と回答した人の割合が高かったのは、「勝浦」で 20.0% となっています。
- 男女別に見ると、女性（17.0%）は男性（10.6%）より 6.4 ポイント高い割合となっています。

図表45 バスや電車を使って一人で外出しているか（自家用車でも可）  
（75 歳以上または要支援者のみ・地域別）



図表46 バスや電車を使って一人で外出しているか（自家用車でも可）  
（75 歳以上または要支援者のみ・男女別）

